※入札公告を必ず確認してください。（海老名市ホームページに掲載しています）

入札案件概要書（工事）

契約番号：7144

件　名	公共下水道マンホール蓋交換工事	
履行場所	海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内	
工　期	令和７年８月 22 日～令和８年１月 13 日（145 日）	
工事の内容等	別紙　仕様書等　のとおり ○週休2日制確保工事の対象案件(受注者希望型)	
予定価格	42,922,000 円（税込）	39,020,000 円（税抜）
最低制限価格	有り（事前算定型） ※本案件は、スクラップ費を一般管理費に含めて最低制限価格を算出しています。 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010　土木一式 経審　－　点以上　－　点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が５千万円（建築一式工事の場合は８千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第　1　区分	第１・第２区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。　※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり　（第１区分及び第２区分の同日開札の工事で、基本数 1 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事･コンサル･一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 （2）（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。システムへはPDF化して添付してください。	
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をＦＡＸで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類	

	※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（３箇所）にマスキング（黒塗り）をして提出してください。

蓋交換位置図(1/4)

県道内 1箇所

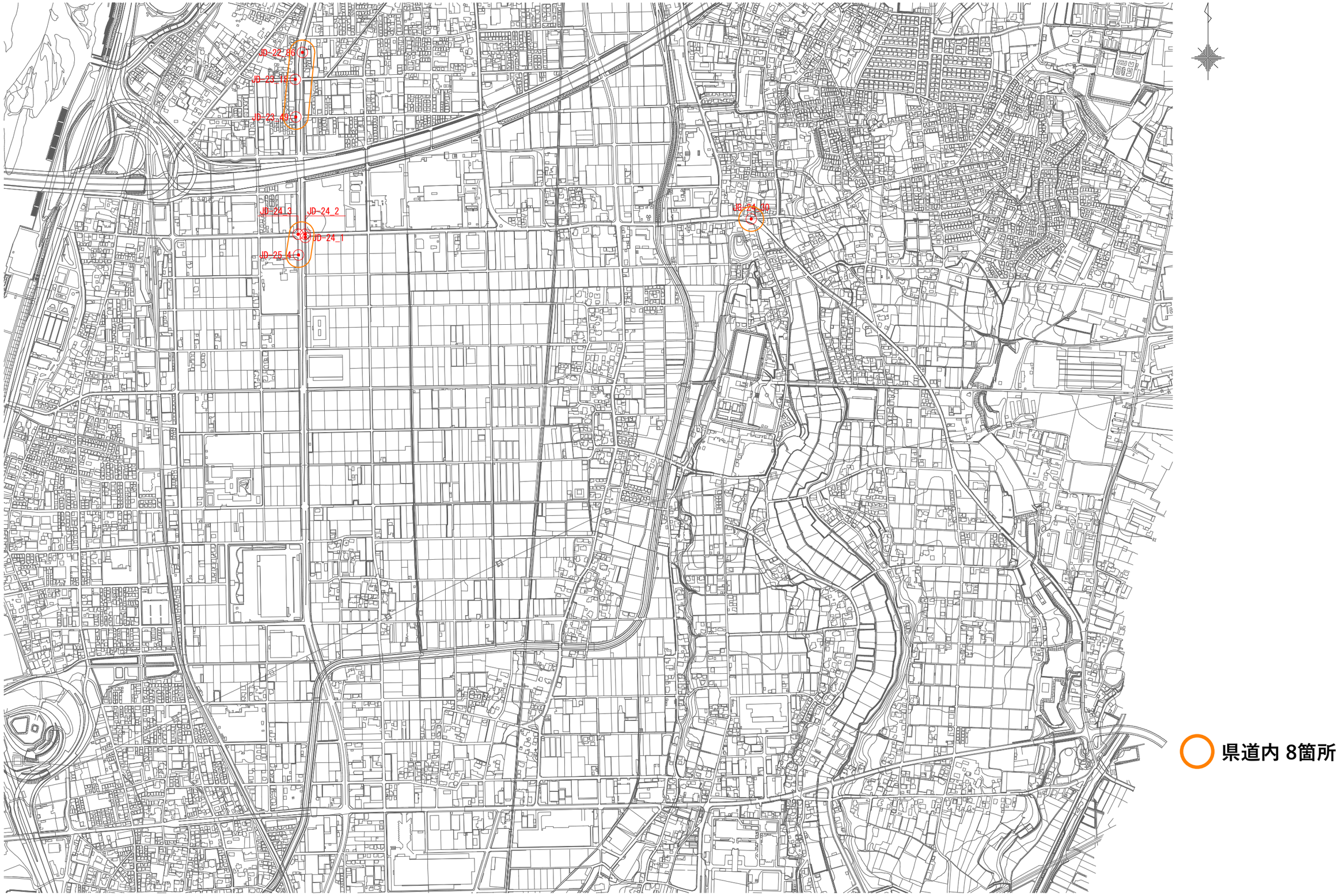
市道内 30箇所

蓋交換位置図(2/4)

蓋交換位置図(3/4)

県道内 3箇所

蓋交換位置図(4/4)


JD-22_86
JD-23_15
JD-23_49
JD-24_3
JD-24_2
JD-24_1
JD-25_4
JD-24_10
県道内 8箇所

工　事　説　明　書

（特記仕様書）

工事件名：公共下水道マンホール蓋交換工事
工事場所：海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内

1 目 的

ストックマネジメント基本計画に基づき、改築が必要と診断されたマンホール蓋の交換工事を実施する。

2 工事概要

工事箇所　44箇所（夜間工事）

・人孔鉄蓋交換工（エポ工法）　一式
・仮設工　一式

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ50㎜、掘削深さ150㎜）】
・柏ケ谷幹線　25箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ150㎜、掘削深さ150㎜）】
・柏ケ谷幹線　５箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ250㎜、掘削深さ250㎜）】
・国分幹線　１箇所
・柏ケ谷幹線　１箇所
・大塚三号幹線　１箇所
・今里三号幹線　３箇所
・今里一号幹線　３箇所
・大谷社家幹線　５箇所

【仮設工】
・交通誘導警備員　１現場

3 仕 様（施工管理）

- 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び海老名市土木工事施工管理基準に準じて施工すること。
- 原則として、アスベストを原料としない建材を用いて施工すること。また、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提供させ、監督職員の確認を得ること。
- 海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。
- 本工事請負業者は、再生砂（RC-10）を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けること。
- 上記以外の内容については、監督員と協議すること。また、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

4 工程管理

- 契約工期　令和7年8月22日　から　令和8年1月13日　まで

5 安全対策

- 工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
  特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないよう、安全対策（安全柵等）を行うこと。

6 仮設備関係

・ 工事用水等は、請負業者の負担とする。

7 道路交通関係

・ 本工事は、工事区間における交通量を考慮し夜間施工することとする。
・ 看板による工事予告及び迂回のお願いは、工事着手日の原則1週間以上前から行うこと。充分な周知を行わない限り、現場着手を認めない。
・ 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
・ 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。
・ 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

8 海老名環境マネジメントシステム関係

・ 本工事は、海老名環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、発注者の伝達事項を遵守し、下表の事項に留意し施工すること。

作　業	配　慮　事　項
掘　削	排出土の発生を抑える整備内容・構造を検討する
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
排出土処理	極力現場内での利用を図る
	搬出する場合は他の市内工事での利用を図る
	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石、再生砂を使用する
コンクリート取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
構造物	二次製品を積極的に使用する
	基礎材は再生砕石および再生砂を使用する
	熱帯材以外のコンクリート型枠を使用する
舗装工(車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
路盤工	路盤材に再生粒度調整砕石、再生砕石、As安定処理材を使用する
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない

9 工事全般

- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については工事打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
  なお、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- 工事に際し、現場代理人および主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。
- 現場から発生する不要物等が、民地部に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- 現場で市民等により工事内容の説明を求められた際は、説明責任を果たすこと。
- 騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは工事期間及び時間等、十分に配慮し、施工にあたること。
- 撤去殻は大きな音が出ないように投げたりせず、静かに積み込みを行うこと。また、重機等の重量物を移動する際は、ゆっくりと正確に行うこと。
- 施工工程全般において、5cm以上の段差を生じさせないこと。
- 乳剤の散布を行う場合は飛散防止の養生を確実に行うこと。また、合材運搬車両等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。
  万が一、既設道路を汚してしまった場合は、請負者で責任をもち清掃すること。
- ゴミ集積所が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出ること。
- 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。
- 区画線の施工を行う場合は、交通管理者および道路管理者との協議を行い施工すること。

10 関係官公庁その他への手続き

- 請負者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

11 土地への立入り等

- 請負者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに監督職員に報告し、協議しなければならない。

12 守秘義務

- 請負者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

13 履行報告義務

- 請負者は、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告するものとする。
  なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

14 新型コロナウイルス感染症対策関係

- 受注者は、下請負者等の関連会社を含め新型コロナウイルス感染症対策に努めるとともに、罹患者が確認されたときには速やかに発注者に報告し、以降の履行について協議すること。

15 その他

- 本作業を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面(打合せ記録簿)で行うものとする。
  また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については、監督職員と協議のうえ、履行するものとする。
- 請負者は、上記事項をすべて理解した上で工事契約及び施工にあたること

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

（趣旨）
第1条　この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

（適用）
第2条　海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

（処理方法）
第3条　舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

（条件）
第4条　受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。
2　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

（提出書類等）
第5条　受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。
2　受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

（その他）
第6条　この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

特記仕様書（受注者希望型）

週休2日制確保工事に関する特記仕様書（土木工事）
（受注者希望型）

1. 週休2日制確保工事について

・本工事は、「海老名市週休２日制度確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

・本工事は「受注者希望型」で実施する。

・要領や提出書類等は市ホームページから入手すること。

2. アンケートについて

・受注者は、同意・不同意に関わらず、アンケートに協力するものとし、工事完了後、工事完成届とあわせて市に提出すること。

施工条件明示書（土木工事共通）

１　工事概要

発　注　者	海老名市		
工事件名	公共下水道マンホール蓋交換工事		
工事場所	海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内		
工事目的	ストックマネジメント基本計画に基づき、改築が必要と診断されたマンホール蓋の交換工事を実施する。		
工事概要	工事箇所44箇所（夜間工事） ・人孔鉄蓋交換工（エポ工法）　一式 ・仮設工　一式		
契約工期	令和7年8月22日　から　令和8年1月13日　まで		
事業区分	■　補助金事業	■　国庫	
		□　県費	
	□　市単独事業		
設計区分	■　単独積算		
	□　合算積算	工事	
		工事	

２　積算諸条件

主たる工種　：　下水道（２）

施工地域・工事場所区分　：　一般交通影響あり（１）、一般交通影響あり（２）

契約保証の方法　：　発注者が金銭的保証を必要とする

施工パッケージの使用（一部使用含む）　：　■　有　□ 無

週休二日制確保工事該当の有無　：　□発注者指定（当初計上）　■受注者希望（変更補正）　□無

【使用歩掛及び単価等】

■ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	6 年	7 月
■ 諸経費率	適用年版：令和	6 年	7 月
■ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	7 年版	
■ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	7 年	5 月
■ 刊行物	適用年版：令和	7 年	4 月
□ 特別調査	適用年版：令和	年	月
■ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	7 年度	
□ その他（　　）	適用年版：令和	年	月

３　施工条件

【１】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	■　無　（他工事件名等） □　有　（工期、内容等）
	2	当工事における施工時期の制約について	■　無　（制約を受ける施工内容等） □　有　（施工時期等）
	3	施工時間について	□　昼間施工 ■　夜間施工（一部含む） （その他特記事項）
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	□　無　（関係機関名） ■　有　厚木土木事務所東部センター
	5	工事着手前に地上物件（家屋調査）、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	■　無　（対象内容） □　有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	□　無　（詳細内容、作業不能日数等） ■　有　年末年始６日
【２】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について（用地買収状況について）	■　無　（用地未取得部分等） □　有　（取得予定年月日等）
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	■　無　（使用場所、期間、借用条件、復旧方法等） □　有
	3	使用後の復旧条件	■　無　（復旧内容等） □　有
【３】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	□　無　（建設機械と制限内容） 騒音規制法・振動規制法 ■　有　（作業時間と制限内容） 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	■　無　（対策内容） □　有

【４】 安全対策関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	■ 無 □ 有 （指定内容）
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	■ 無 □ 有 （対象内容） □鉄道　□ガス　□電気　□電話　□上水道 □下水道　□その他（　　）
	3	交通誘導警備員の配置について	□ 無 ■ 有 （１）交通誘導員の配置 あり （２）配置期間 作業期間中（夜）
【５】 工事用道路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	■ 無 □ 有 （搬入経路・使用期間等の制限） （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	■ 無 □ 有 （仮設道路に関する安全施設） （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産物関係	1	建設発生土が発生する場合について	■ 無 □ 有 （建設発生土の処分先）
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	□ 無 ■ 有 （対象内容） ■コンクリート塊　■アスファルト・コンクリート塊 □建設発生木材　□建設発生木材（伐木・除根材） ■建設汚泥　□建設混合廃棄物　□金属くず □その他（　　） **※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること**
	※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【７】 工事支障物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	■ 無 □ 有 （対象内容） □電柱　□上水道　□下水道　□電話　□ガス管 □架空電線　□標識・看板 □その他（　　）

【８】 薬液注入関係	1	薬液注入について	■ 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： □ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【９】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	■ 無 （品名、数量等） □ 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	■ 無 （品名、数量等） □ 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	■ 無 （品名、数量、搬入制限等） □ 有
	4	発生売却品評価額（スクラップ等）を計上している場合について	□ 無 （品名等） ■ 有 マンホール鉄蓋　44枚計上(3.9t)
	5		■ 無 □ 有
	6		■ 無 □ 有

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令　和　7　年　度

公共下水道マンホール蓋交換工事設計書

<table>
<tr><td>工　事　番　号</td><td colspan="2">歩掛R6.7　単価R7.5</td><td>施　工　年　度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>工　事　名　称</td><td colspan="4">公共下水道マンホール蓋交換工事</td></tr>
<tr><td>工　事　場　所</td><td colspan="4">海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内</td></tr>
<tr><td>施　　工　　主</td><td>海老名市</td><td colspan="3" rowspan="12">工事概要
【人孔鉄蓋交換工（切断深さ50mm、掘削深さ150mm）】
・柏ケ谷幹線　　25箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ150mm、掘削深さ150mm）】
・柏ケ谷幹線　　５箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ250mm、掘削深さ250mm）】
・国分幹線　　１箇所
・柏ケ谷幹線　　１箇所
・大塚三号幹線　１箇所
・今里三号幹線　３箇所
・今里一号幹線　３箇所
・大谷社家幹線　５箇所

【仮設工】
・交通誘導警備員　１現場</td></tr>
<tr><td>設　計　区　分</td><td>下水道工事（２）</td></tr>
<tr><td>路　　線　　名</td><td></td></tr>
<tr><td>工　事　期　間</td><td>令和 7年 8月 22日 ～ 令和 8年 1月 13日</td></tr>
<tr><td>工　事　日　数</td><td>145 日</td></tr>
<tr><td>部　　課　　名</td><td>まちづくり部下水道課</td></tr>
<tr><td>積　算　担　当</td><td>管路施設係</td></tr>
<tr><td>合　　計　　額</td><td></td></tr>
<tr><td>工　事　価　格</td><td></td></tr>
<tr><td>消費税相当額</td><td></td></tr>
</table>

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事	下水道工事（２）							場所区分:一般交通影響有り（２）
		人孔鉄蓋交換工		式	1			
		仮設工		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
本工事	下水道工事（２）							場所区分:一般交通影響有り（１）
		人孔鉄蓋交換工		式	1			
		仮設工		式	1			

工　事　設　計　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								

工　事　設　計　書

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
工事原価計								
	一般管理費			式	1			
	契約保証費			式	1			
	売却発生品評価額			式	1			
工事価格								
消費税相当額								
本工事費計								

令　和　7　年　度

公共下水道マンホール蓋交換工事設計書

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>歩掛R6.7　単価R7.5</td><td>施　工　年　度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>名　　称</td><td colspan="3">公共下水道マンホール蓋交換工事</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内</td></tr>
<tr><td>施　工　主</td><td colspan="2">海老名市</td><td rowspan="11">概要
【人孔鉄蓋交換工（切断深さ50mm、掘削深さ150mm）】
・柏ケ谷幹線　25箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ150mm、掘削深さ150mm）】
・柏ケ谷幹線　５箇所

【人孔鉄蓋交換工（切断深さ250mm、掘削深さ250mm）】
・国分幹線　　１箇所

【仮設工】
・交通誘導警備員　１現場</td></tr>
<tr><td>設　計　区　分</td><td colspan="2">下水道工事（２）</td></tr>
<tr><td>路　線　名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>期　　間</td><td colspan="2">令和 7年 8月 22日 ～ 令和 8年 1月 13日</td></tr>
<tr><td>日　　数</td><td colspan="2">145 日</td></tr>
<tr><td>部　課　名</td><td colspan="2">まちづくり部下水道課</td></tr>
<tr><td>積　算　担　当</td><td colspan="2">管路施設係</td></tr>
<tr><td>合　計　額</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>価　　格</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>消費税相当額</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
費	下水道工事（２）							
		人孔鉄蓋交換工 夜間		式	1			A-　1号内訳書
		仮設工 夜間		式	1			A-　2号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
		発生品評価額		式	1			A-　3号内訳書
工事価格								
消費税相当額								

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
合計額								

間　接　費　明　細　書

設		計		条	件
工　　種	下水道工事（２）	工事日数(内冬日数	145日/74日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り（２）	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算　出　基　礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数３位四捨五入２位止めとする。

共　通　仮　設　費　＝　対象額×率
＝　　×　％
＝

対象額　＝　直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費
＝　　＋　＋　－　－　＋　－
＝

率　　＝　対象額による率×地域補正係数
＝　　％×
＝　　％×　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

現　場　管　理　費　＝　対象額×率
＝　　×　％
＝

対象額　＝　直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋支給品費(現)－現場管理費対象外額－支給現場費対象外額－処分除外費
＝　　＋　＋　＋　－　－　－
＝

率　　＝　対象額による率×地域補正係数
＝　　％×
＝　　％×　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

間　接　費　明　細　書

算　　出　　基　　礎

一　般　管　理　費　＝　対象額×率＋対象額×契約保証補正値－調整額
＝　　×　％＋　　×　％－
＝

対象額　＝　工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
＝　　－　　－　　＋
＝

率　　＝　対象額による率×前払補正
＝　　％×
＝　　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

A-　1号　　1式当たり　　内訳書

人孔鉄蓋交換工 夜間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
人孔鉄蓋調整工事 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	25			B-　1号明細書
人孔鉄蓋調整工事 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	5			B-　7号明細書
人孔鉄蓋調整工事 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　13号明細書
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25,転落防止梯子付き	組	20			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25	組	11			
舗装版切断濁水処理工 夜間	北部地区	式	1			C-　4号単価表
舗装版切断濁水処理工 夜間	北部地区	式	1			C-　5号単価表
舗装版切断濁水処理工 夜間	北部地区	式	1			C-　6号単価表
計						

A-　2号　　1式当たり　　内訳書

仮設工 夜間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ｂ 夜間		現場	1			C-　7号単価表
計						

A-　3号　　1式当たり　　内訳書

発生品評価額

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
スクラップ費	H2	t	2.8			
計						

B-　1号　　1箇所当たり　　明細書

人孔鉄蓋調整工事 夜間

切断深さ50mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
AS舗装版切断工 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　2号明細書
人孔上部撤去工 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　3号明細書
復旧工 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　4号明細書
養生工 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　5号明細書
機械損料 夜間	切断深さ50mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　6号明細書
計						

B-　2号　　1箇所当たり　　明細書

AS舗装版切断工 夜間

切断深さ50mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
カッター消耗費 夜間		cm				C-　1号単価表
諸雑費		式	1			
計						

B-　3号　　1箇所当たり　　明細書

人孔上部撤去工 夜間

切断深さ50mm，掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層･下層)	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m^3	0.105			
諸雑費		式	1			
計						

B-　4号　　1箇所当たり　　明細書

復旧工 夜間

切断深さ50mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
ESコンクリート		kg	147			
ESプライマー		kg	0.8			
仕上げモルタル		m^3	0.008			
表層（車道・路肩部）	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)	m^2	0.7			施工P-01
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	1			
諸雑費		式	1			
計						

B-　4号明細書(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:
表層（車道・路肩部）　　入力数量: 50mm

平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)、瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

	名　称　／　規　格	単位	構成比	単価(東京)	単　価	摘　要
機械K			0.43			
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式／運転質量0.5～0.6t	供/日	0.24			
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型／機械質量40～60kg	供/日	0.13			
K3						
K4						
K5						
労務R			42.30			
R1	特殊作業員／夜間	人	18.71			
R2	普通作業員／夜間	人	13.40			
R3	土木一般世話役／夜間	人	4.05			
R4						
R5						
材料Z			57.27			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (小型車)／再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	52.51			
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤／PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	ℓ	4.54			
Z3	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	0.16			
Z4	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	0.03			
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = \; & \times \left\{ \left(\frac{0.24}{100} \times \text{----------} + \frac{0.13}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{0.43}{0.24+0.13} \right. \\
& + \left(\frac{18.71}{100} \times \text{----------} + \frac{13.40}{100} \times \text{----------} + \frac{4.05}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{42.30}{18.71+13.40+4.05} \\
& + \left(\frac{52.51}{100} \times \text{----------} + \frac{4.54}{100} \times \text{----------} + \frac{0.16}{100} \times \text{----------} + \frac{0.03}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{57.27}{52.51+4.54+0.16+0.03} \\
& \left. + \frac{100-0.43-42.30-57.27}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

B-　5号　　1箇所当たり　　明細書

養生工 夜間

切断深さ50mm，掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
諸雑費		式	1			
計						

B-　6号　　1箇所当たり　　明細書

機械損料 夜間

切断深さ50mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
カッター車		日				
カッター駆動装置		日				
クレーン車		日				
発動発電機	20KVA	日				
作業車		日				
搭載機器		日				
発動発電機	25KVA	日				
諸雑費		式	1			
計						

B-　7号　　1箇所当たり　　明細書

人孔鉄蓋調整工事 夜間

切断深さ150mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
AS舗装版切断工 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　8号明細書
人孔上部撤去工 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　9号明細書
復旧工 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　10号明細書
養生工 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　11号明細書
機械損料 夜間	切断深さ150mm, 掘削深さ150mm	箇所	1			B-　12号明細書
計						

B-　8号　　1箇所当たり　　明細書

AS舗装版切断工 夜間

切断深さ150mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
カッター消耗費 夜間		cm				C-　1号単価表
諸雑費		式	1			
計						

B-　9号　　1箇所当たり　　明細書

人孔上部撤去工 夜間

切断深さ150mm，掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m^3	0.07			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m^3	0.105			
諸雑費		式	1			
計						

B-　10号　　1箇所当たり　　明細書

復旧工 夜間

切断深さ150mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
ESコンクリート		kg	147			
ESプライマー		kg	1			
仕上げモルタル		m^3	0.008			
表層（車道・路肩部）	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)	m^2	0.7			施工P-01
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	1			
諸雑費		式	1			
計						

B-　10号明細書(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:
表層（車道・路肩部）　　入力数量: 50mm

平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)、瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

	名　称　／　規　格	単位	構成比	単価(東京)	単　価	摘　要
機械K			0.43			
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式／運転質量0.5～0.6t	供/日	0.24			
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型／機械質量40～60kg	供/日	0.13			
K3						
K4						
K5						
労務R			42.30			
R1	特殊作業員／夜間	人	18.71			
R2	普通作業員／夜間	人	13.40			
R3	土木一般世話役／夜間	人	4.05			
R4						
R5						
材料Z			57.27			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (小型車)／再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	52.51			
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤／PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	ℓ	4.54			
Z3	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	0.16			
Z4	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	0.03			
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = \; & \times \left\{ \left(\frac{0.24}{100} \times \text{----------} + \frac{0.13}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{0.43}{0.24+0.13} \right. \\
& + \left(\frac{18.71}{100} \times \text{----------} + \frac{13.40}{100} \times \text{----------} + \frac{4.05}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{42.30}{18.71+13.40+4.05} \\
& + \left(\frac{52.51}{100} \times \text{----------} + \frac{4.54}{100} \times \text{----------} + \frac{0.16}{100} \times \text{----------} + \frac{0.03}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{57.27}{52.51+4.54+0.16+0.03} \\
& \left. + \frac{100-0.43-42.30-57.27}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

B-　11号　　1箇所当たり　　明細書

養生工 夜間

切断深さ150mm，掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
諸雑費		式	1			
計						

B-　12号　　1箇所当たり　　明細書

機械損料 夜間

切断深さ150mm, 掘削深さ150mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
カッター車		日				
カッター駆動装置		日				
クレーン車		日				
発動発電機	20KVA	日				
作業車		日				
搭載機器		日				
発動発電機	25KVA	日				
諸雑費		式	1			
計						

B-　13号　　1箇所当たり　　明細書

人孔鉄蓋調整工事 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
AS舗装版切断工 夜間	切断深さ250mm，掘削深さ250mm	箇所	1			B-　14号明細書
人孔上部撤去工 夜間	切断深さ250mm，掘削深さ250mm	箇所	1			B-　15号明細書
復旧工 夜間	切断深さ250mm，掘削深さ250mm	箇所	1			B-　16号明細書
養生工 夜間	切断深さ250mm，掘削深さ250mm	箇所	1			B-　17号明細書
機械損料 夜間	切断深さ250mm，掘削深さ250mm	箇所	1			B-　18号明細書
計						

B-　14号　　1箇所当たり　　明細書

AS舗装版切断工 夜間

切断深さ250mm, 掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
カッター消耗費 夜間		cm				C-　1号単価表
諸雑費		式	1			
計						

B-　15号　　1箇所当たり　　明細書

人孔上部撤去工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m^3	0.146			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m^3	0.181			
諸雑費		式	1			
計						

B-　16号　　1箇所当たり　　明細書

復旧工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
ESコンクリート		kg	380			
ESプライマー		kg	1.4			
仕上げモルタル		m^3	0.008			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	1			
諸雑費		式	1			
計						

B-　17号　　1箇所当たり　　明細書

養生工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
諸雑費		式	1			
計						

B-　18号　　1箇所当たり　　明細書

機械損料 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
カッター車		日				
カッター駆動装置		日				
クレーン車		日				
発動発電機	20KVA	日				
作業車		日				
搭載機器		日				
発動発電機	25KVA	日				
諸雑費		式	1			
計						

C-　1号　　5,040㎝当たり　　単価表

カッター消耗費 夜間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
カッター		個	1			
ビット付替		回				
計						
1㎝当たり						

C-　4号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工 夜間

北部地区

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断濁水運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級	回	1			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.104			
計						

C-　5号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工 夜間

北部地区

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.062			
計						

C-　6号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工 夜間

北部地区

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.017			
計						

C-　7号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ　夜間

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	48			
計						

公共下水道マンホール蓋交換工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
ESコンクリート		kg	4,790			
ESプライマー		kg	26.4			
仕上げモルタル		m^3	0.248			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (小型車)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	2.645			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	31			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25	組	11			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25, 転落防止梯子付き	組	20			
ｶﾞｿﾘﾝ	ﾚｷﾞｭﾗｰ, ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	0.643			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	0.134			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	ℓ	26.42			
材料費計						

公共下水道マンホール蓋交換工事　　材料費(37)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m³	1.371			
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m³	1.085			
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層･下層)	m³	0.875			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m³	3.331			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m³	0.183			
材料費計						

令　和　7　年　度

公共下水道マンホール蓋交換工事設計書

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>歩掛R6.7　単価R7.5</td><td>施　工　年　度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>名　　称</td><td colspan="3">公共下水道マンホール蓋交換工事</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">海老名市　東柏ケ谷二丁目ほか　地内</td></tr>
<tr><td>施　工　主</td><td colspan="2">海老名市</td><td rowspan="11">概要
【人孔鉄蓋交換工（切断深さ250mm、掘削深さ250mm）】
・柏ケ谷幹線　　１箇所
・大塚三号幹線　　１箇所
・今里三号幹線　　３箇所
・今里一号幹線　　３箇所
・大谷社家幹線　　５箇所

【仮設工】
・交通誘導警備員　１現場</td></tr>
<tr><td>設　計　区　分</td><td colspan="2">下水道工事（２）</td></tr>
<tr><td>路　線　名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>期　　間</td><td colspan="2">令和 7年 8月 22日 ～ 令和 8年 1月 13日</td></tr>
<tr><td>日　　数</td><td colspan="2">145 日</td></tr>
<tr><td>部　課　名</td><td colspan="2">まちづくり部下水道課</td></tr>
<tr><td>積　算　担　当</td><td colspan="2">管路施設係</td></tr>
<tr><td>合　計　額</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>価　　格</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>消費税相当額</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
費	下水道工事（２）							
		人孔鉄蓋交換工 夜間		式	1			A-　1号内訳書
		仮設工 夜間		式	1			A-　2号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
		発生品評価額		式	1			A-　3号内訳書
工事価格								
消費税相当額								

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
合計額								

間　接　費　明　細　書

設		計		条	件
工　　種	下水道工事（２）	工事日数(内冬日数	145日/74日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り（１）	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算　出　基　礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数３位四捨五入２位止めとする。

共　通　仮　設　費　＝　対象額×率
＝　　×　％
＝

対象額　＝　直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費
＝　　＋　＋　－　－　＋　－
＝

率　　＝　対象額による率×地域補正係数
＝　　％×
＝　　％×　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

現　場　管　理　費　＝　対象額×率
＝　　×　％
＝

対象額　＝　直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋支給品費(現)－現場管理費対象外額－支給現場費対象外額－処分除外費
＝　　＋　＋　＋　－　－　－
＝

率　　＝　対象額による率×地域補正係数
＝　　％×
＝　　％×　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

間　接　費　明　細　書

算　　出　　基　　礎

一　般　管　理　費　＝　対象額×率＋対象額×契約保証補正値－調整額
＝　　×　％＋　　×　％－
＝

対象額　＝　工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
＝　　－　　－　　＋
＝

率　　＝　対象額による率×前払補正
＝　　％×
＝　　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

A-　1号　　1式当たり　　内訳書

人孔鉄蓋交換工 夜間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
人孔鉄蓋調整工事 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	13			B-　1号明細書
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25,転落防止梯子付き	組	12			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25	組	1			
舗装版切断濁水処理工 夜間	北部地区	式	1			C-　2号単価表
計						

A-　2号　　1式当たり　　内訳書

仮設工 夜間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ａ 夜間		現場	1			C-　3号単価表
交通誘導警備員Ｂ 夜間		現場	1			C-　4号単価表
交通誘導警備員Ｂ 夜間		現場	1			C-　5号単価表
計						

A-　3号　　1式当たり　　内訳書

発生品評価額

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
スクラップ費	H2	t	1.1			
計						

B-　1号　　1箇所当たり　　明細書

人孔鉄蓋調整工事 夜間

切断深さ250mm, 掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
AS舗装版切断工 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　2号明細書
人孔上部撤去工 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　3号明細書
復旧工 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　4号明細書
養生工 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　5号明細書
機械損料 夜間	切断深さ250mm, 掘削深さ250mm	箇所	1			B-　6号明細書
計						

B-　2号　　1箇所当たり　　明細書

AS舗装版切断工 夜間

切断深さ250mm, 掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
カッター消耗費 夜間		cm				C-　1号単価表
諸雑費		式	1			
計						

B-　3号　　1箇所当たり　　明細書

人孔上部撤去工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m^3	0.035			
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m^3	0.146			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m^3	0.181			
諸雑費		式	1			
計						

B-　4号　　1箇所当たり　　明細書

復旧工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
ESコンクリート		kg	380			
ESプライマー		kg	1.4			
仕上げモルタル		m^3	0.008			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	1			
諸雑費		式	1			
計						

B-　5号　　1箇所当たり　　明細書

養生工 夜間

切断深さ250mm，掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役	夜間	人				
特殊作業員	夜間	人				
普通作業員	夜間	人				
諸雑費		式	1			
計						

B-　6号　　1箇所当たり　　明細書

機械損料 夜間

切断深さ250mm, 掘削深さ250mm

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
カッター車		日				
カッター駆動装置		日				
クレーン車		日				
発動発電機	20KVA	日				
作業車		日				
搭載機器		日				
発動発電機	25KVA	日				
諸雑費		式	1			
計						

C-　1号　　5,040㎝当たり　　単価表

カッター消耗費 夜間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
カッター		個	1			
ビット付替		回				
計						
1㎝当たり						

C-　2号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工 夜間

北部地区

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.265			
計						

C-　3号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ａ 夜間

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ａ		人日	6			
計						

C-　4号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ　夜間

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	20			
計						

C-　5号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ　夜間

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	10			
計						

公共下水道マンホール蓋交換工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
ESコンクリート		kg	4,940			
ESプライマー		kg	18.2			
スクラップ費	H2	t	1.1			
仕上げモルタル		m^3	0.104			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	13			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25	組	1			
海老名市型 人孔鉄蓋 次世代型高性能(φ600)	汚水 T-25, 転落防止梯子付き	組	12			
材料費計						

公共下水道マンホール蓋交換工事　　材料費(37)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m³	1.898			
廃材処理料(北部地区)	有筋Ｃｏ殻	m³	0.455			
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m³	2.353			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m³	0.265			
材料費計						

マンホール蓋交換工事　数量総括表（当初）

※2箇所／日　施工

設計区分	道路(舗装構成)	幹線流域	人孔名称	人孔番号	梯子	工種・数量	交通誘導警備員
一般交通影響あり（2）	市道90号線（３号復旧）	柏ケ谷幹線	94-11645	JN-3_53	梯子付	人孔鉄蓋調整工事 切断深さ50mm 掘削深さ150mm N=25箇所 （梯子付19箇所）	交通誘導警備員B N=3人
			94-11646	JN-3_52	梯子付		
			94-11647	JN-3_57			
			94-11652	JN-3_46	梯子付		
			94-11653	JN-3_47			
			94-11658	JN-3_39	梯子付		
			94-11659	JN-3_40			
			94-11666	JN-3_31	梯子付		
			95-11667	JN-3_34			
			94-11675	JN-3_61	梯子付		
			95-11683	JN-3_62	梯子付		
			05-11687	JN-3_63			
			93-11690	JN-3_71	梯子付		
	市道22号線（３号復旧）	柏ケ谷幹線	00-12285	JP-2_19	梯子付		
			94-12293	JP-3_34	梯子付		
			94-12294	JP-3_33	梯子付		
			94-12295	JP-3_32	梯子付		
			94-12296	JP-3_30	梯子付		
			93-12299	JP-3_8	梯子付		
			94-12300	JP-3_9	梯子付		
			95-12374	JP-4_49	梯子付		
			94-12377	JP-4_50	梯子付		
			95-12378	JP-4_53	梯子付		
			94-12379	JP-4_56	梯子付		
			95-12380	JP-4_59			
	市道90号線（６号復旧）	柏ケ谷幹線	93-11701	JN-3_74		人孔鉄蓋調整工事 切断深さ150mm 掘削深さ150mm N=5箇所	
			93-11702	JN-3_75			
			92-11703	JN-3_76			
			93-11976	JO-3_64			
			93-11977	JO-3_65			
	県道407号	国分幹線	00-04822	JG-11_21	梯子付	人孔鉄蓋調整工事 切断深さ250mm 掘削深さ250mm N=1箇所 （梯子付1箇所）	
	スクラップ費	H2	0.092×31				2.8t

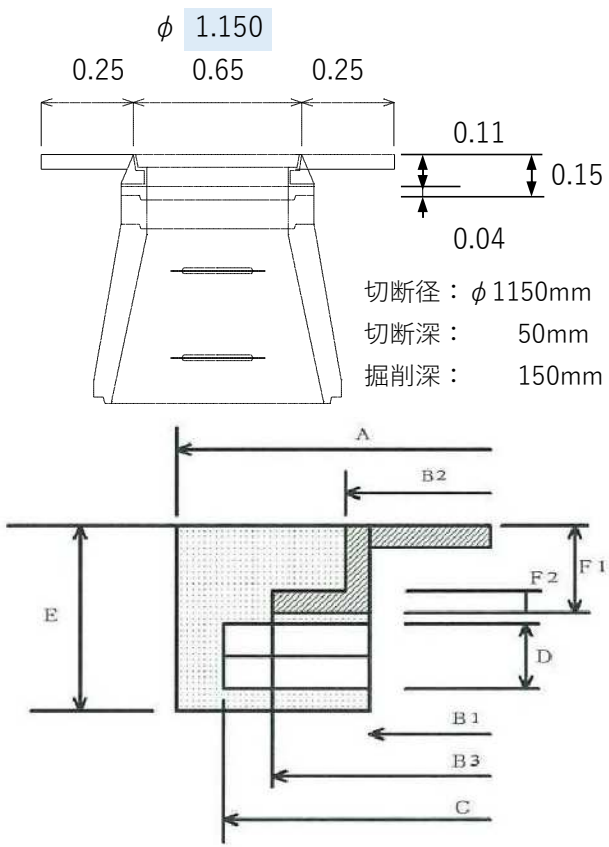
一般交通影響あり（1）	県道40号	柏ケ谷幹線	93-11988	JO-3_52		人孔鉄蓋調整工事 切断深さ250mm 掘削深さ250mm N=13箇所 （梯子付12箇所）	交通誘導警備員A N=1人 交通誘導警備員B N=4人
		大塚三号幹線	00-09128	JI-10_20	梯子付		
	県道46号	今里三号幹線	00-02610	JD-20_25	梯子付		
			00-02611	JD-20_24	梯子付		
			00-02612	JD-20_23	梯子付		
		今里一号幹線	93-02694	JD-22_86	梯子付		
			00-02767	JD-23_18	梯子付		
			93-02794	JD-23_49	梯子付		
		大谷社家幹線	00-02852	JD-25_4	梯子付		
			94-02841	JD-24_3	梯子付		交通誘導警備員A N=1人 交通誘導警備員B N=5人
			00-02842	JD-24_1	梯子付		
			00-02843	JD-24_2	梯子付		
	県道43号	大谷社家幹線	00-05682	JG-24_30	梯子付		交通誘導警備員B N=5人
	スクラップ費	H2	0.092×13				1.1t

汚水・人孔鉄蓋交換工（エポ工法）

数　量　計　算　書

切断厚： 5cm　復旧厚： 5cm　ﾘﾝｸﾞ 10cm 0枚　ﾘﾝｸﾞ 15cm 0枚

略	図	名　称	算　式	数量（1箇所当たり）
施工箇所数N= 25 箇所				
		舗装版切断（円形） φ 1.150 m	1.15×π≒3.6m	1 箇所
		残塊処分量(V)	V1=(A²-B1²)*π/4*E V2=(B2²-B1²)*π/4*(F1-F2) V3=(B3²-B1²)*π/4*F2 (路盤材) V4=(C²-B1²)*π/4*D (有筋Co) (As殻) V=V1-V2-V3 (合算)	 0.035 ㎥ 0.035 ㎥ 0.035 ㎥ 0.105 ㎥
		ESｺﾝｸﾘｰﾄ量(Q)	V5=(A²-B2²)*π/4*0.05 Q=(V1-V2-V3-V5)*2000*1.05	 147 kg
		ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布量(W)	P1=(A²-B1²)*π/4 P2=(C²-B1²)*π/4*2面*ﾘﾝｸﾞ (使用枚数) P3=(B3²-B1²)*π/4*2面 P4=πA*(切断深(m)-0.05) P5=B2*π*(F1-F2-0.05) W=(P1+P2+P3+P4+P5)*0.50*1.2	 0.8 kg
		車道表層工 t=5cm	(A²-B2²)*π/4	 0.7 m2
		スクラップ	0.092 （汚水、T-25）	 0.092 t



	単位	数　量
A	m	1.15
B1	m	0.60
B2	m	0.65
B3	m	0.82
C	m	0.90
D	m	0.10
E	m	0.15
F1	m	0.11
F2	m	0.013
V1	㎥	0.113
V2	㎥	0.0048
V3	㎥	0.0032
V4	㎥	0.035
V5	㎥	0.035
P1	㎡	0.76
P2	㎡	
P3	㎡	0.49
P4	㎡	
P5	㎡	0.10

V	㎥	0.105
Q	kg	147.0
W	kg	0.81

A：カッター径
B1：鉄蓋内径（人孔内径）
B2：鉄蓋外径
B3：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ外径
C：調整ﾘﾝｸﾞ外径
E：掘削深
F1：鉄蓋厚
F2：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ厚
V：残塊処分量
Q：ESｺﾝｸﾘｰﾄ量

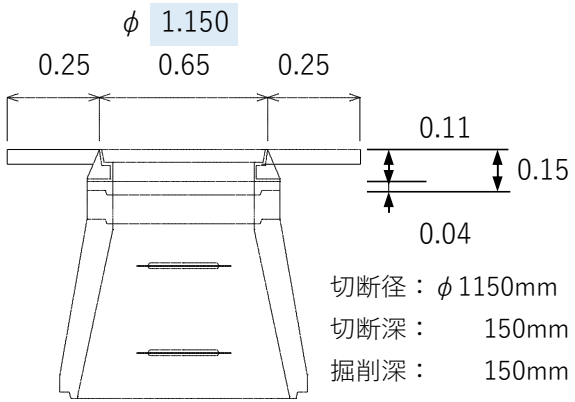
汚水・人孔鉄蓋交換工（エポ工法）

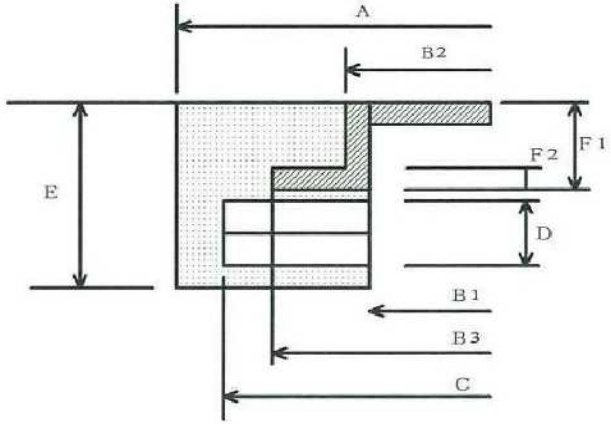
数　量　計　算　書

切断厚： 15cm　復旧厚： 15cm　ﾘﾝｸﾞ 10cm 0枚　ﾘﾝｸﾞ 15cm 0枚

略　　図

施工箇所数N=　5　箇所





A：カッター径
B1：鉄蓋内径（人孔内径）
B2：鉄蓋外径
B3：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ外径
C：調整ﾘﾝｸﾞ外径
E：掘削深
F1：鉄蓋厚
F2：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ厚
V：残塊処分量
Q：ESｺﾝｸﾘｰﾄ量

	単位	数　量
A	m	1.15
B1	m	0.60
B2	m	0.65
B3	m	0.82
C	m	0.90
D	m	0.10
E	m	0.15
F1	m	0.11
F2	m	0.013
V1	m³	0.113
V2	m³	0.0048
V3	m³	0.0032
V4	m³	0.035
V5	m³	0.035
P1	m²	0.76
P2	m²	
P3	m²	0.49
P4	m²	0.36
P5	m²	0.10

V	m³	0.105
Q	kg	147.0
W	kg	1.03

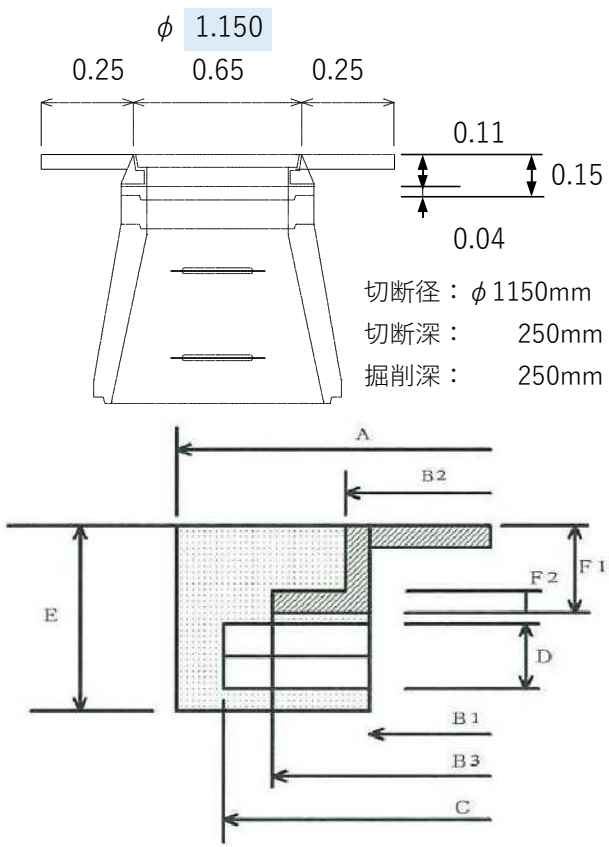
名　称	算　式	数量（1箇所当たり）
舗装版切断（円形） φ 1.150 m	1.15×π≒3.6m	1 箇所
残塊処分量(V)	V1=(A²-B1²)*π/4*E V2=(B2²-B1²)*π/4*(F1-F2) V3=(B3²-B1²)*π/4*F2 V4=(C²-B1²)*π/4*D　(有筋Co) (As殻) V=V1-V2-V3　(合算)	 0.035 m³ 0.070 m³ 0.105 m³
ESｺﾝｸﾘｰﾄ量(Q)	V5=(A²-B2²)*π/4*0.05 Q=(V1-V2-V3-V5)*2000*1.05	147 kg
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布量(W)	P1=(A²-B1²)*π/4 P2=(C²-B1²)*π/4*2面*ﾘﾝｸﾞ（使用枚数） P3=(B3²-B1²)*π/4*2面 P4=πA*(切断深(m)-0.05) P5=B2*π*(F1-F2-0.05) W=(P1+P2+P3+P4+P5)*0.50*1.2	 1.0 kg
車道表層工 t=5cm	(A²-B2²)*π/4	0.7 m2
スクラップ	0.092 （汚水、T-25）	0.092 t

汚水・人孔鉄蓋交換工（エポ工法）

数　量　計　算　書

切断厚： 25cm　復旧厚： 25cm　ﾘﾝｸﾞ 10cm 0枚　ﾘﾝｸﾞ 15cm 0枚

略	図	名　称	算　式	数量（1箇所当たり）
施工箇所数N= 14 箇所		舗装版切断（円形） ϕ 1.150 m	1.15×π≒3.6m	1 箇所
		残塊処分量(V)	V1=(A²-B1²)*π/4*E V2=(B2²-B1²)*π/4*(F1-F2) V3=(B3²-B1²)*π/4*F2 V4=(C²-B1²)*π/4*D　(有筋Co) (As殻) V=V1-V2-V3　(合算)	0.035 ㎥ 0.146 ㎥ 0.181 ㎥
		ESｺﾝｸﾘｰﾄ量(Q)	Q=(V1-V2-V3)*2000*1.05	380 kg
		ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布量(W)	P1=(A²-B1²)*π/4 P2=(C²-B1²)*π/4*2面*ﾘﾝｸﾞ（使用枚数） P3=(B3²-B1²)*π/4*2面 P4=πA*切断深(m) P5=B2*π*(F1-F2) W=(P1+P2+P3+P4+P5)*0.50*1.2	1.4 kg
		スクラップ	0.092 （汚水、T-25）	0.092 t



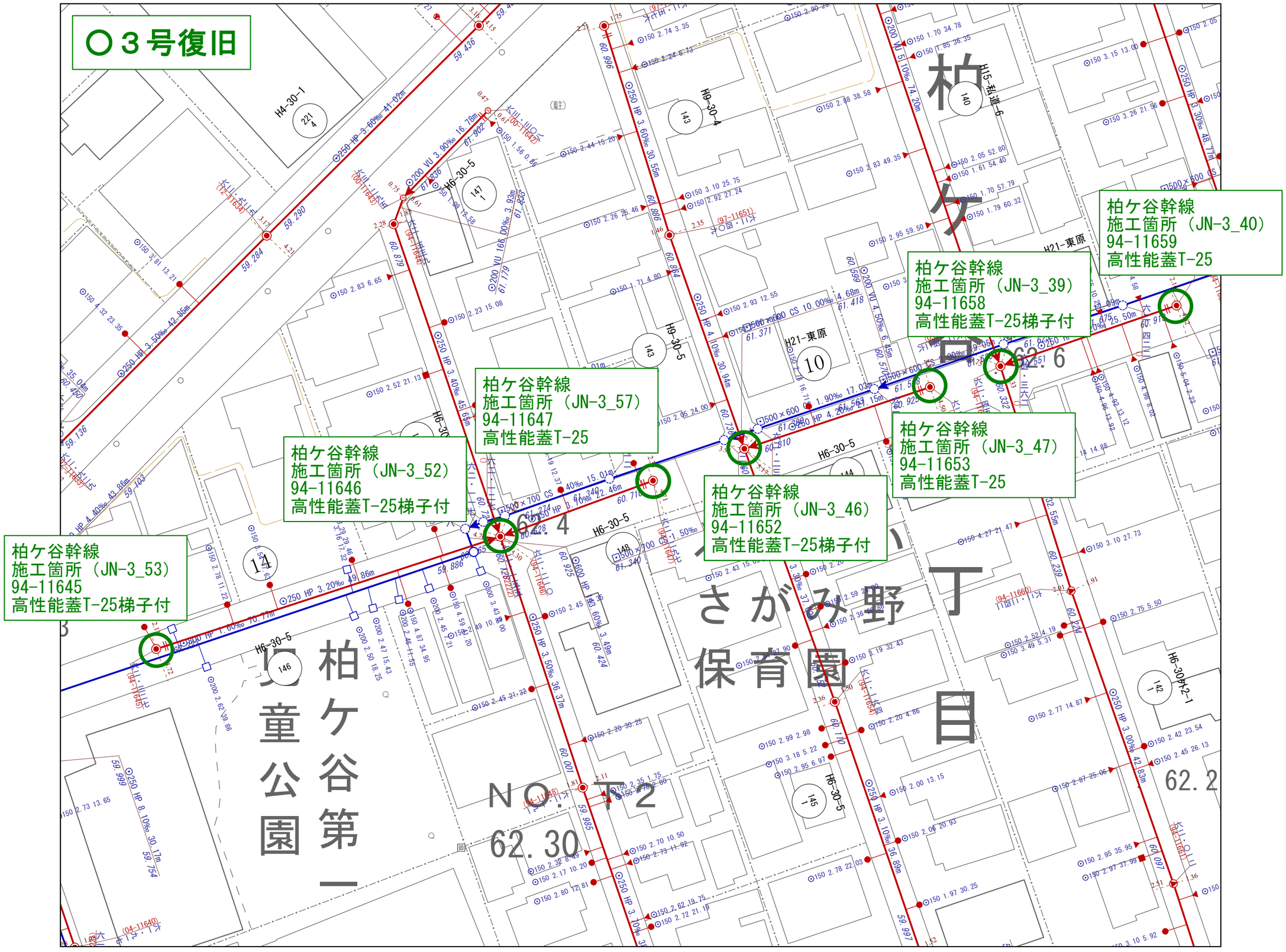
	単位	数　量
A	m	1.15
B1	m	0.60
B2	m	0.65
B3	m	0.82
C	m	0.90
D	m	0.10
E	m	0.25
F1	m	0.11
F2	m	0.013
V1	㎥	0.189
V2	㎥	0.0048
V3	㎥	0.0032
V4	㎥	0.035
P1	㎡	0.76
P2	㎡	
P3	㎡	0.49
P4	㎡	0.90
P5	㎡	0.20

V	㎥	0.181
Q	kg	380.1
W	kg	1.41

A：カッター径　E：掘削深
B1：鉄蓋内径（人孔内径）　F1：鉄蓋厚
B2：鉄蓋外径　F2：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ厚
B3：鉄蓋ﾌﾗﾝｼﾞ外径　V：残塊処分量
C：調整ﾘﾝｸﾞ外径　Q：ESｺﾝｸﾘｰﾄ量

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年6月25日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

〈管渠属性〉

〈取付管属性〉

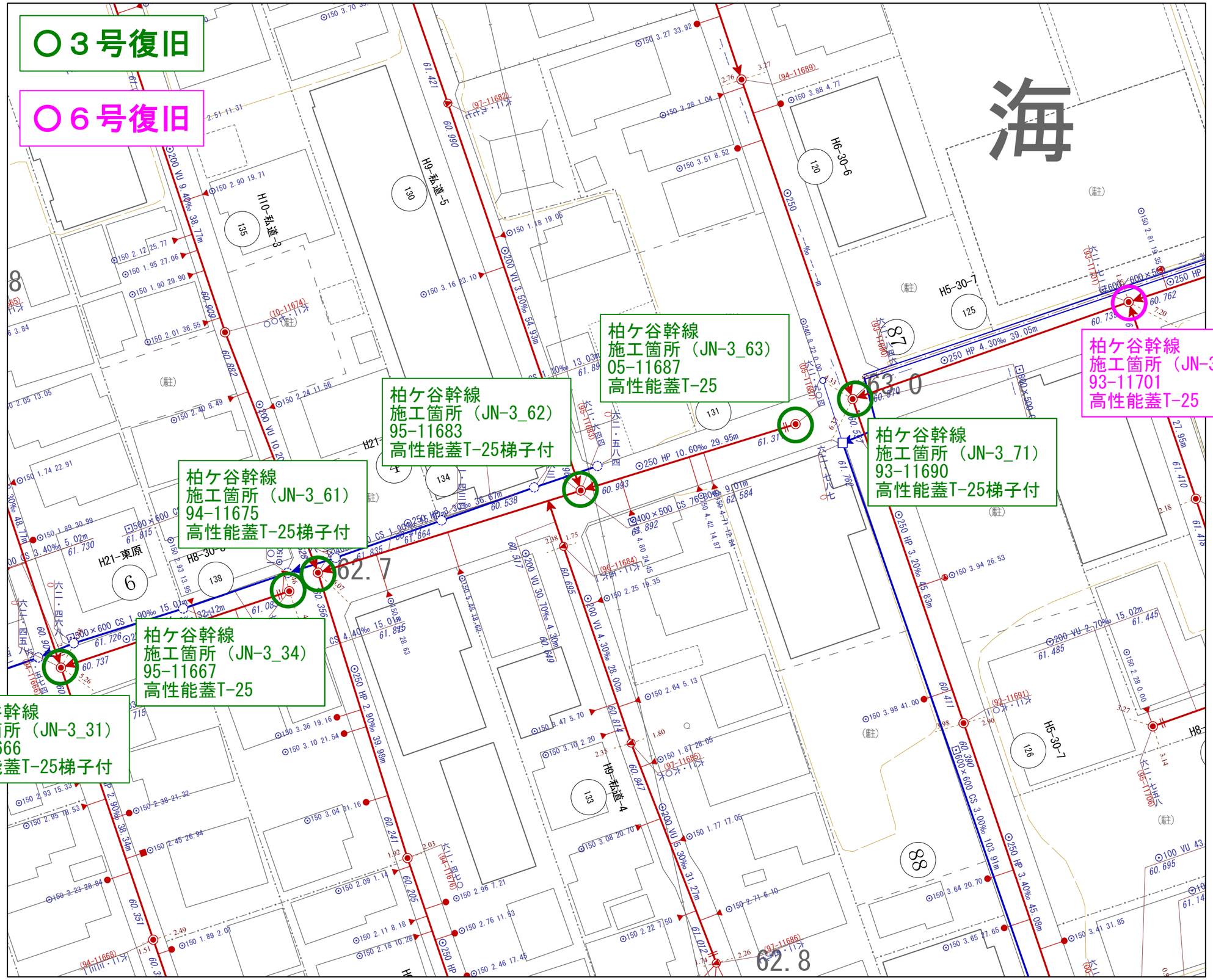
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年6月25日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉
地盤高　三・四・三六
施設名　00 108841

〈管渠属性〉
管種　管径　勾配　延長距離
VU　○250　5.00‰　23.45m
12.345 上流側管底高
12.228 下流側管底高

〈取付管属性〉
管径　取付管延長
○150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

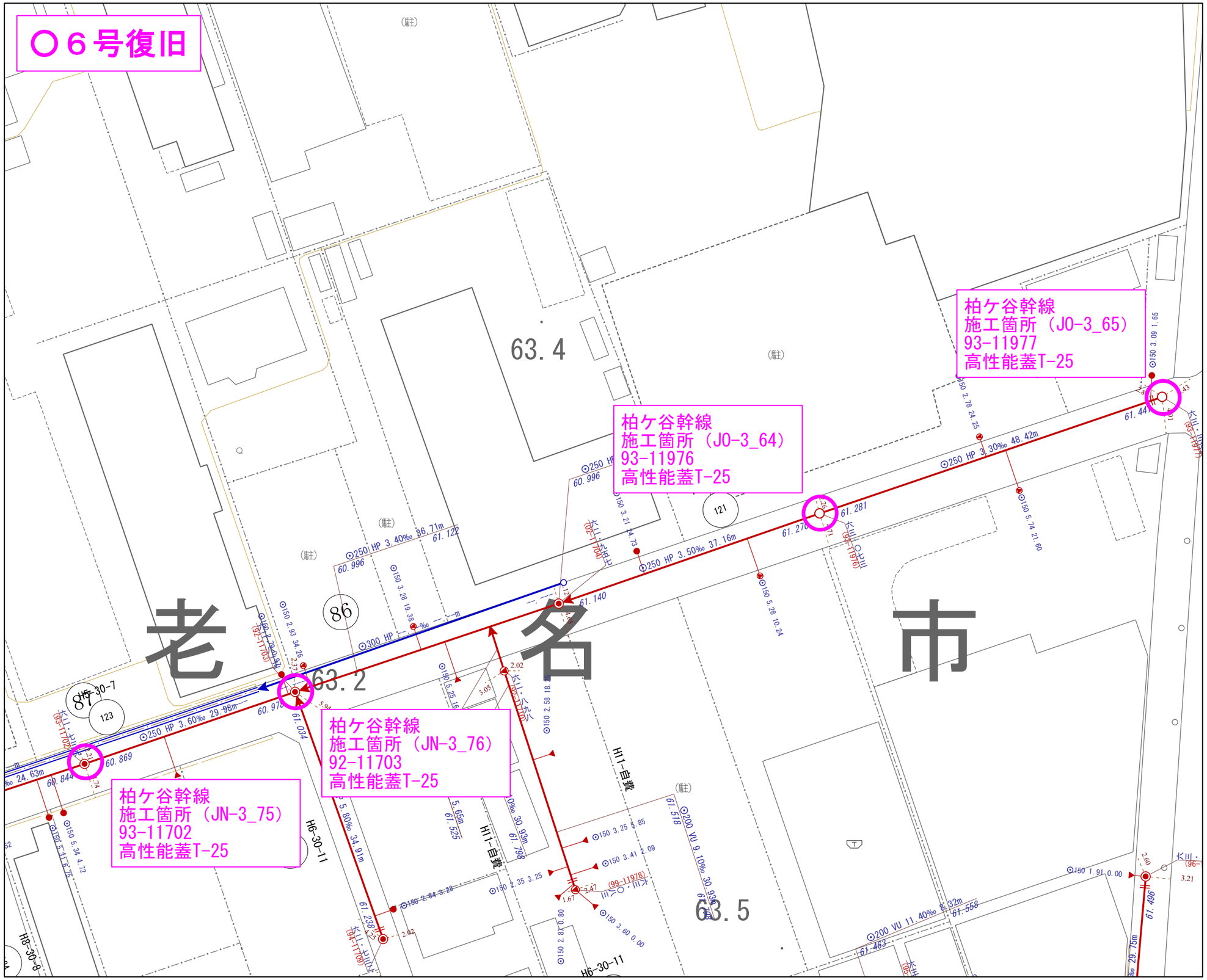
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年6月25日



凡　例

線　種	種　別
	処理分区界

記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

地盤高　三四・三六
施設名　00 10684

〈管渠属性〉

管種	管径	勾配	区間距離
VU	○250	5.00‰	23.45m

12,345 上流側管底高
12,228 下流側管底高

〈取付管属性〉

管種	取付管延長	
○150	3.60	12.34 上流側人孔からの距離

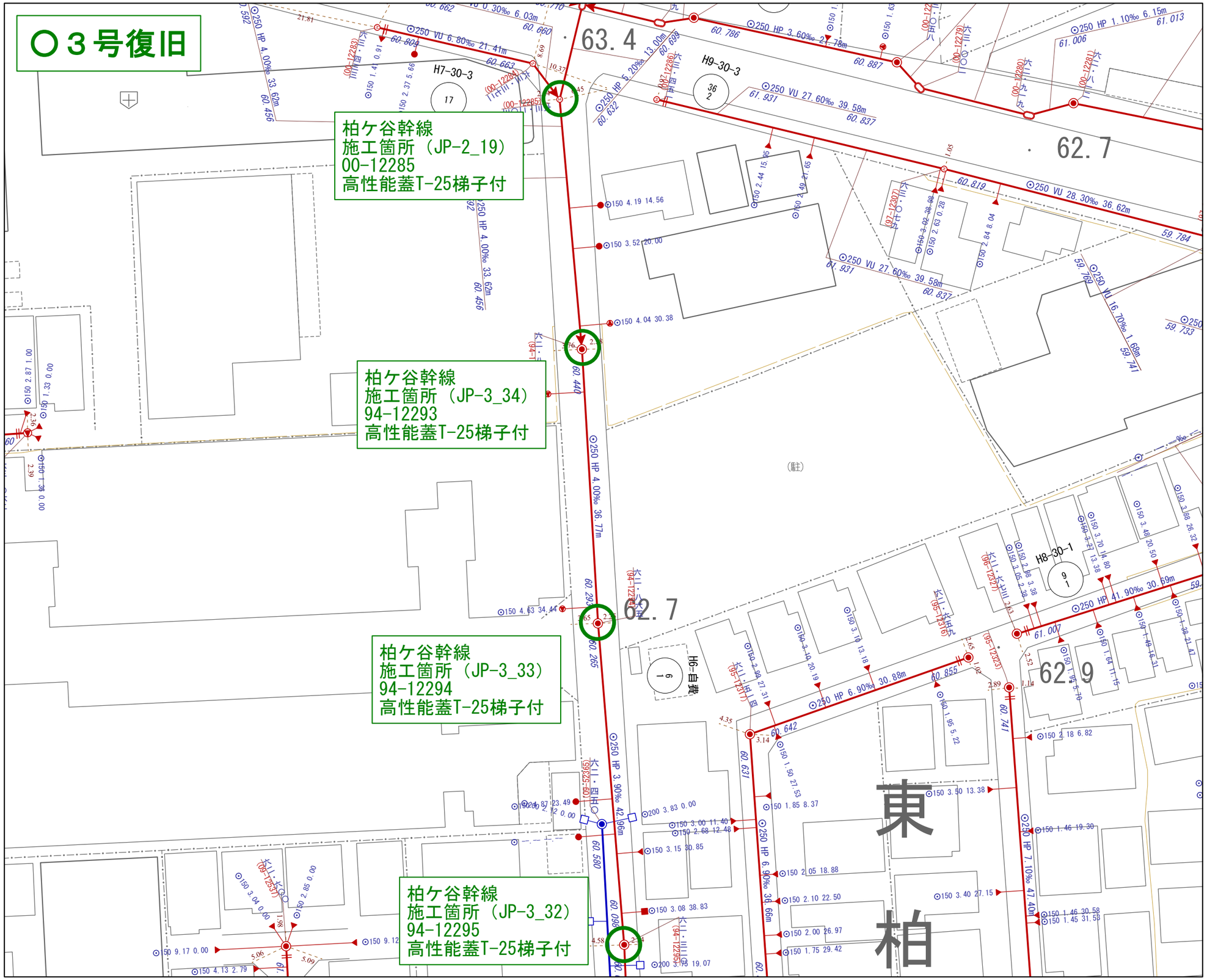
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

<人孔属性>

地盤高　三・四・三六　施設名　00-10884

<管渠属性>

管種　管径　勾配　区間延長
VU　○250　5.00‰　23.45m
12.345　上流側管底高
12.228　下流側管底高

<取付管属性>

管径　取付管延長
○150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

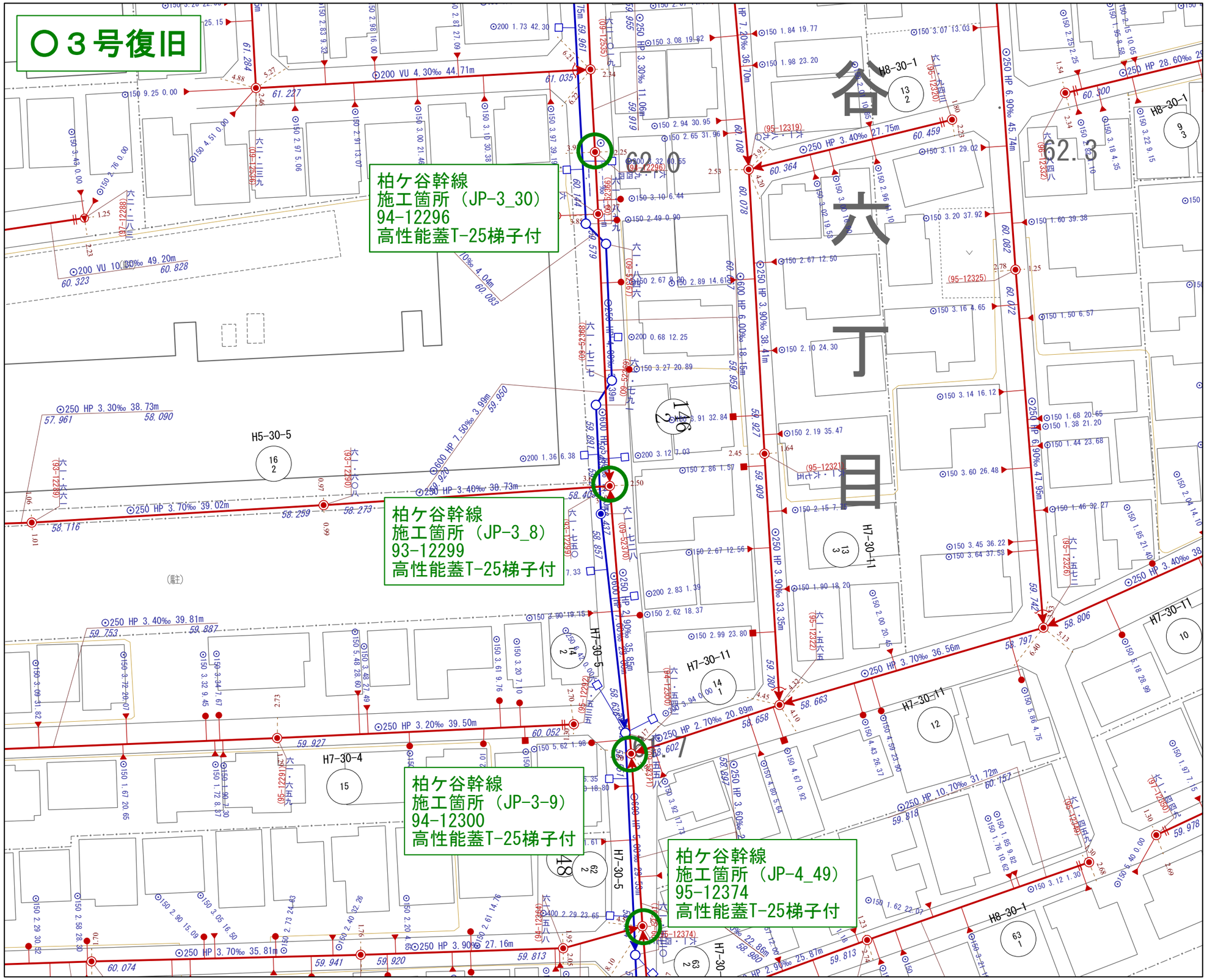
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例

線　種	種　別
	処理分区界

記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

地盤高　三四・三六　施設台帳

(00 10684)

〈管渠属性〉

管種　管径　勾配　区間距離

VU　Φ250　5.00‰　23.45m

12.345　上流側管底高

12.228　下流側管底高

〈取付管属性〉

管径　取付管延長

Φ150　3.50　12.34

上流側人孔からの距離

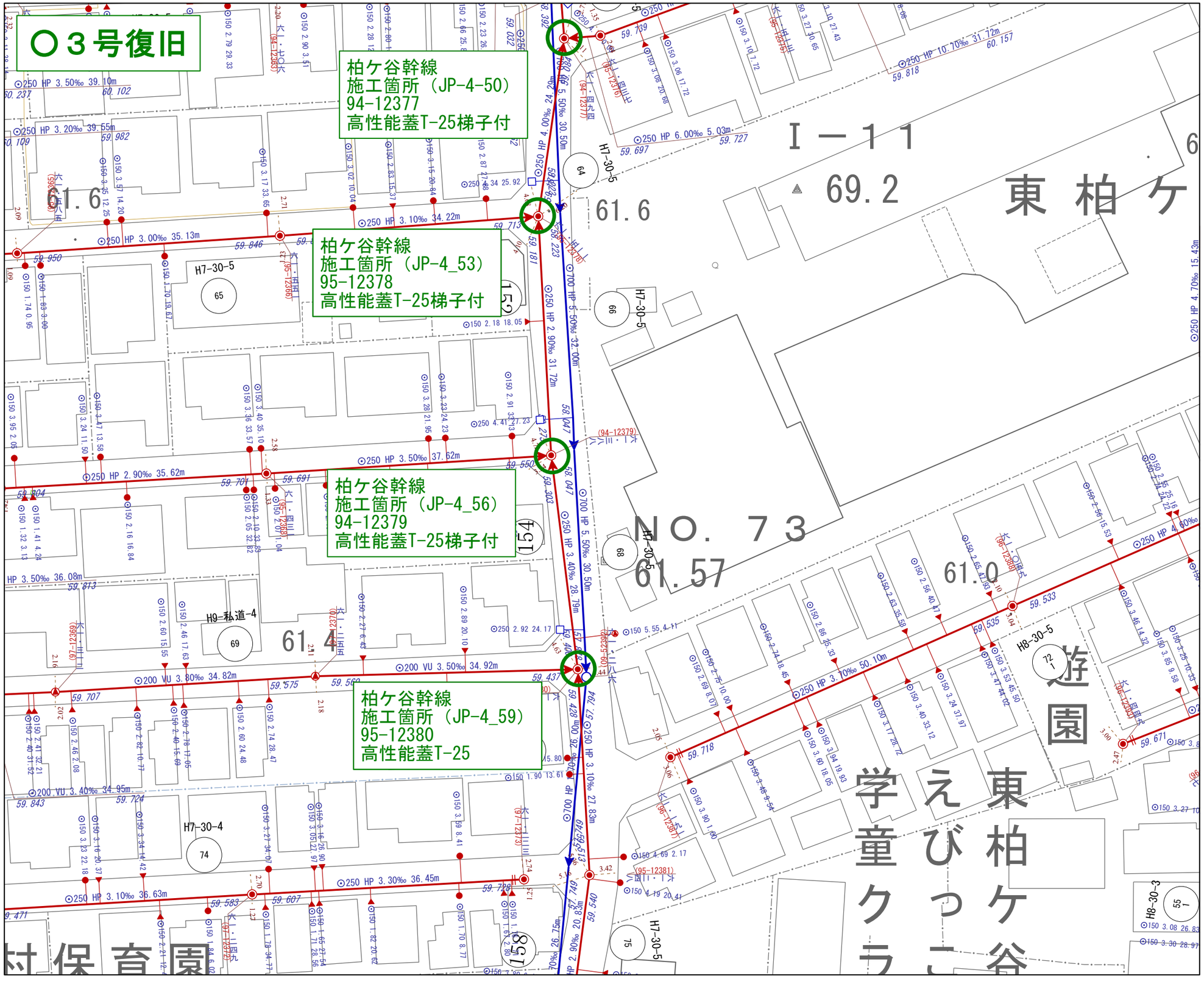
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡例	
線種	種別
	処理分区界
記号	種別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

<人孔属性>
地盤高　三四・三六　施設名称　(H8801 00)

<管渠属性>
管種　管径　勾配　区間延長
VU　○250　5.00‰　23.45m
12.345　上流側管底高
12.228　下流側管底高

<取付管属性>
管径　取付管延長
○150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日

凡例	
線種	種別
	処理分区界
記号	種別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

<人孔属性>

地盤高　三四・三六　00 10684 施設名

<管渠属性>

管種	管径	勾配	区間延長
VU	○250	5.00‰	23.45m

12.345 上流側管底高　12.228 下流側管底高

<取付管属性>

管径　取付管延長
○150　3.60　12.34
上流側人孔からの距離

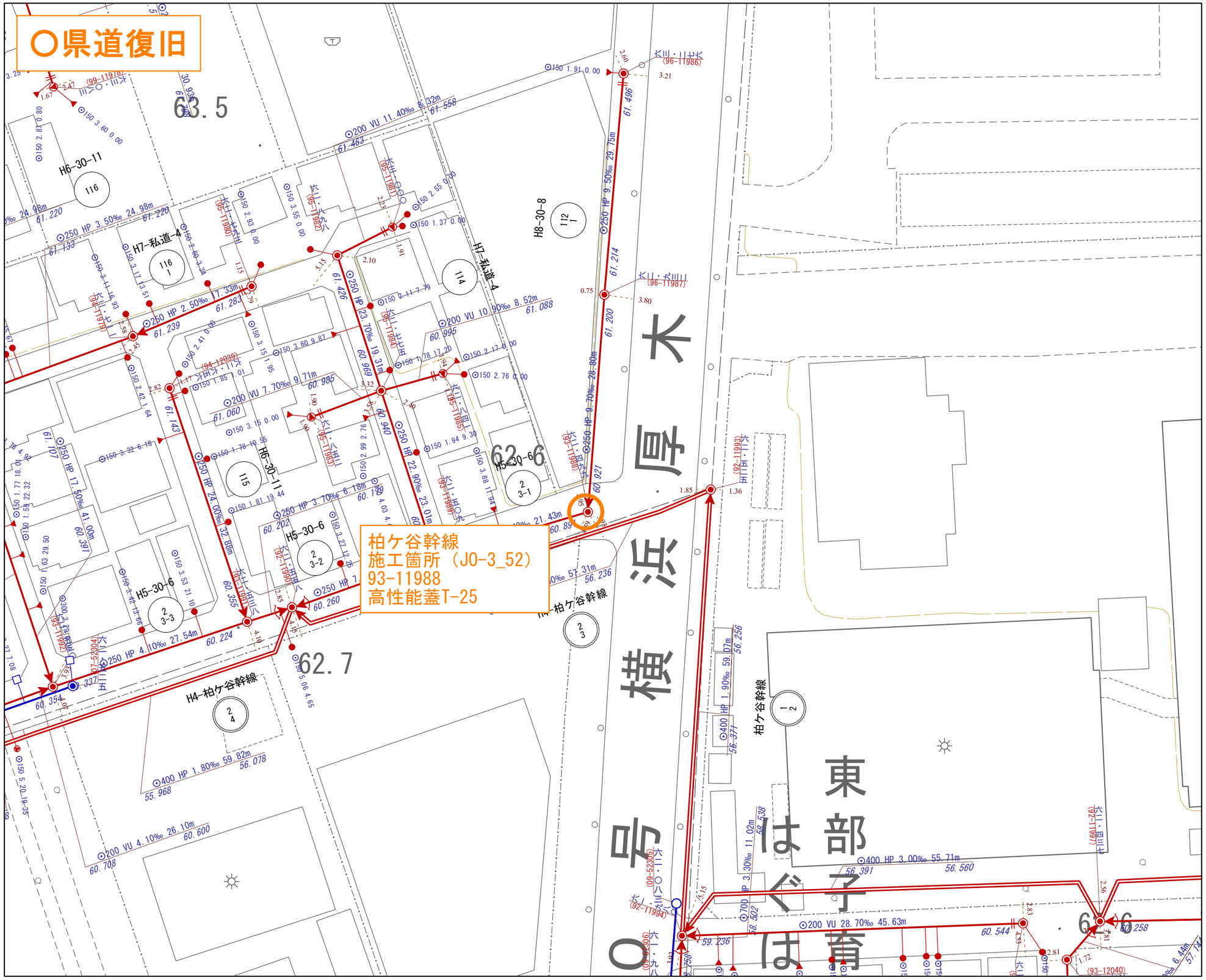
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

地盤高　三四・三六　施設名

φ00 1068(4)

〈管渠属性〉

管種　管径　勾配　区間延長

VU　○250　5.00‰　23.45m

12.345　上流側管底高

12.228　下流側管底高

〈取付管属性〉

管径　取付管延長

○150　3.50　12.34

上流側人孔からの距離

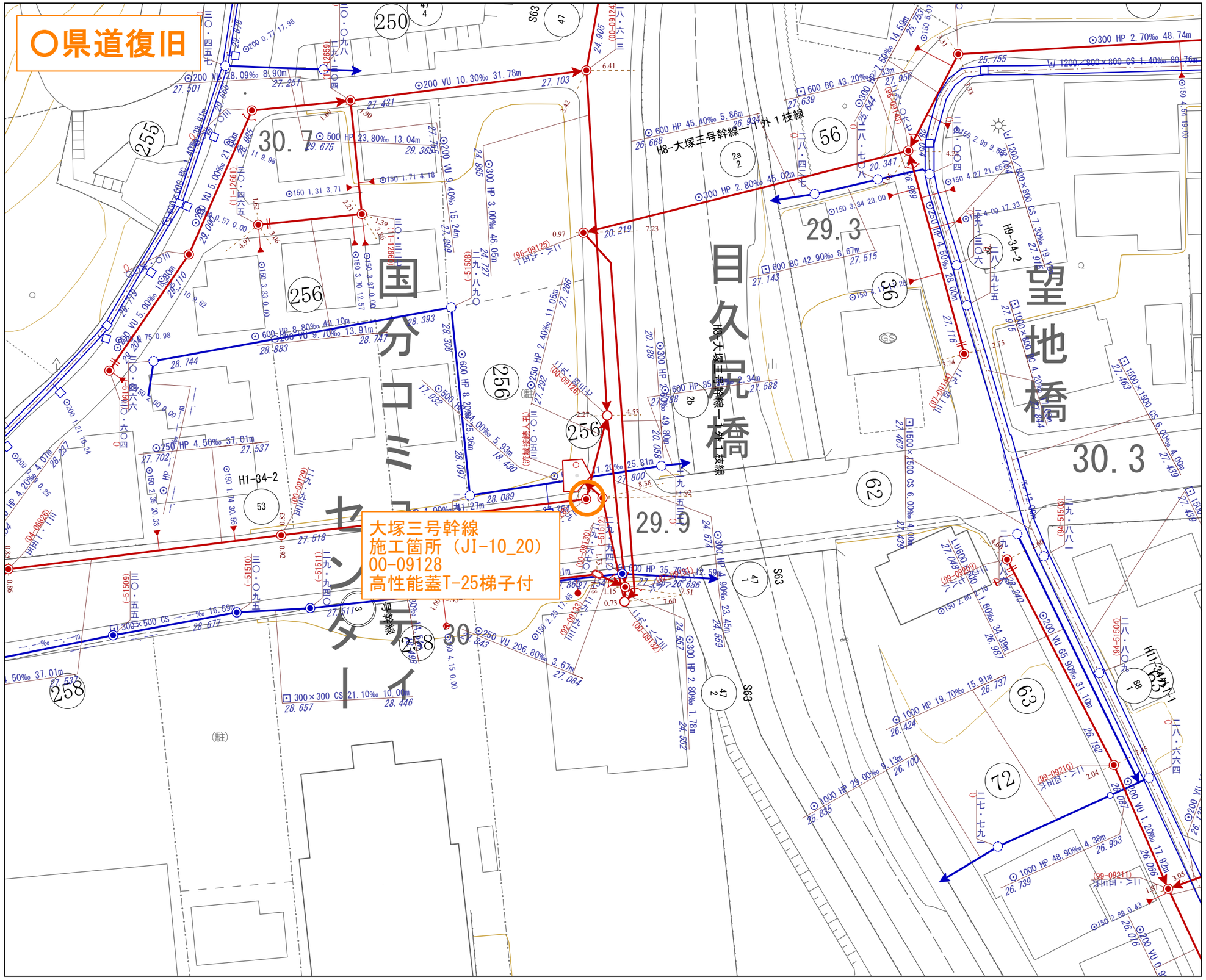
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

地盤高　三四・三六

施設名　(00-10884)

〈管渠属性〉

管種	管径	勾配	区間延長
VU	○250	5.00‰	23.45m

12.345 上流側管底高　12.228 下流側管底高

〈取付管属性〉

管径　取付管延長

○150　3.50　12.34

上流側人孔からの距離

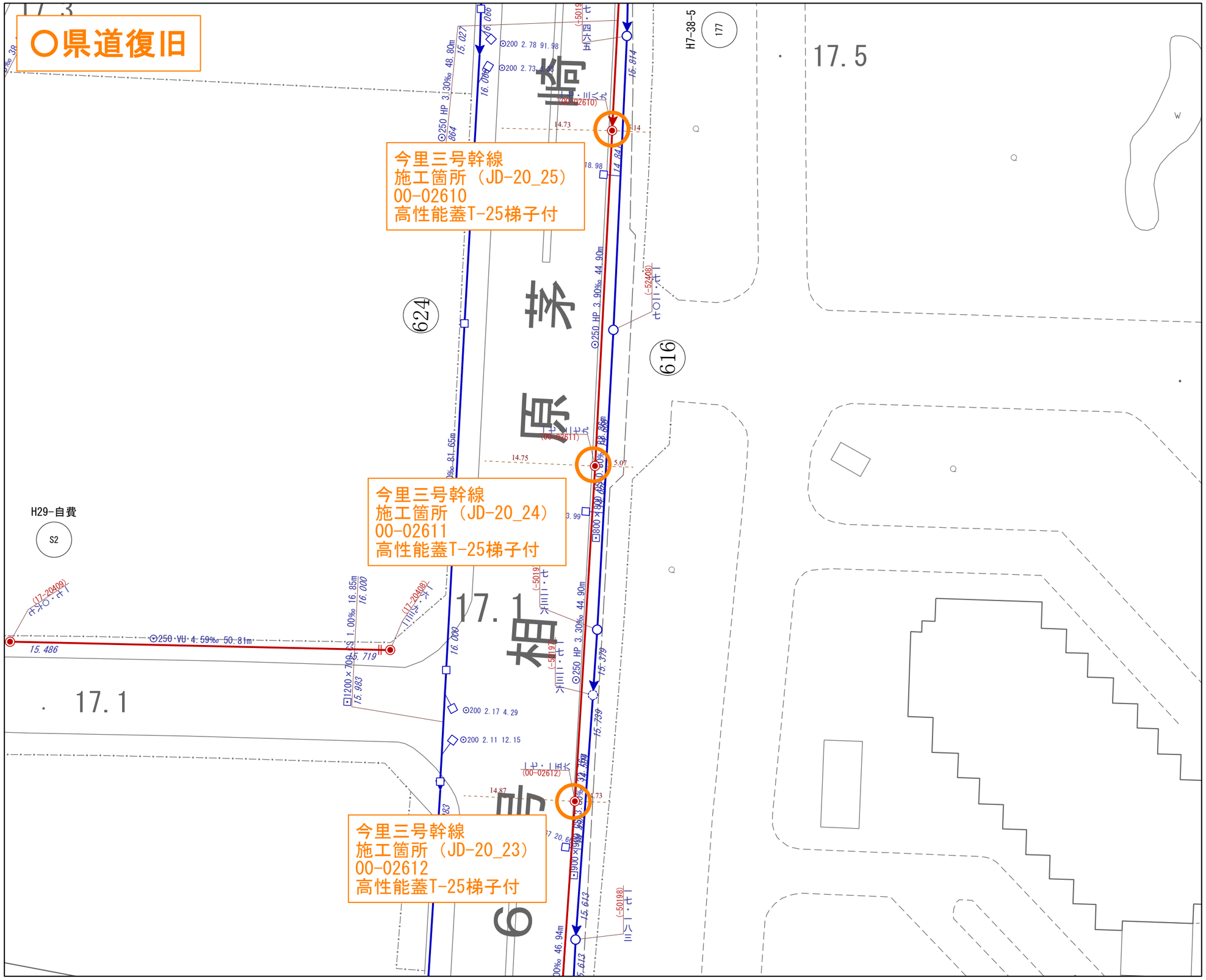
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉
地盤高　三四・三六　(00-10684)　施設名

〈管渠属性〉
管種　管径　勾配　区間距離
VU　○250　5.00‰　23.45m
12.345　上流側管底高
12.228　下流側管底高

〈取付管属性〉
管径　取付管延長
○150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

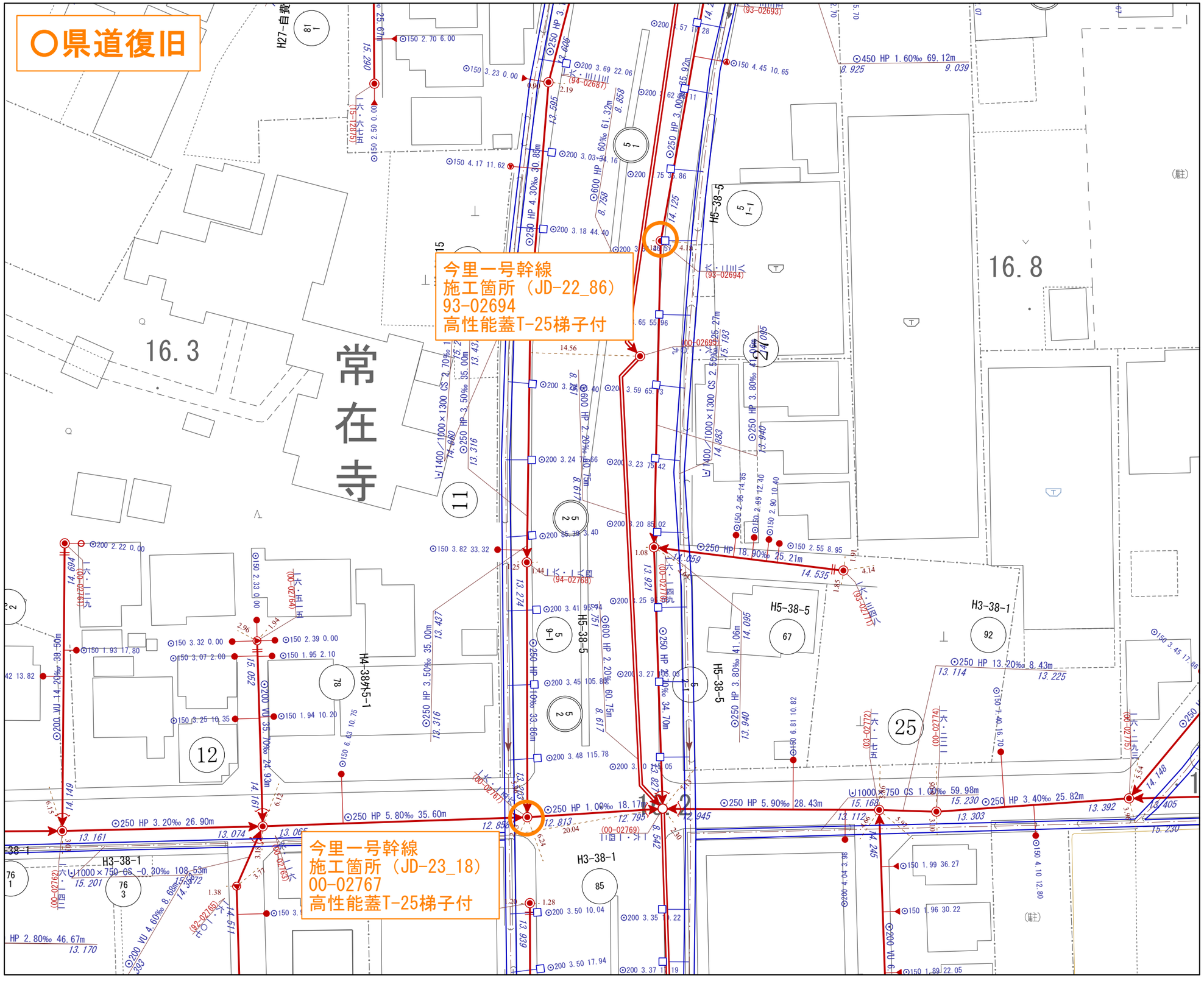
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉

地盤高　三四・三六　施設名　00 10884

〈管渠属性〉

管種　管径　勾配　区間延長
VU　○250　5.00‰　23.45m
12.345　上流側管底高
12.228　下流側管底高

〈取付管属性〉

管径　取付管延長
○150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

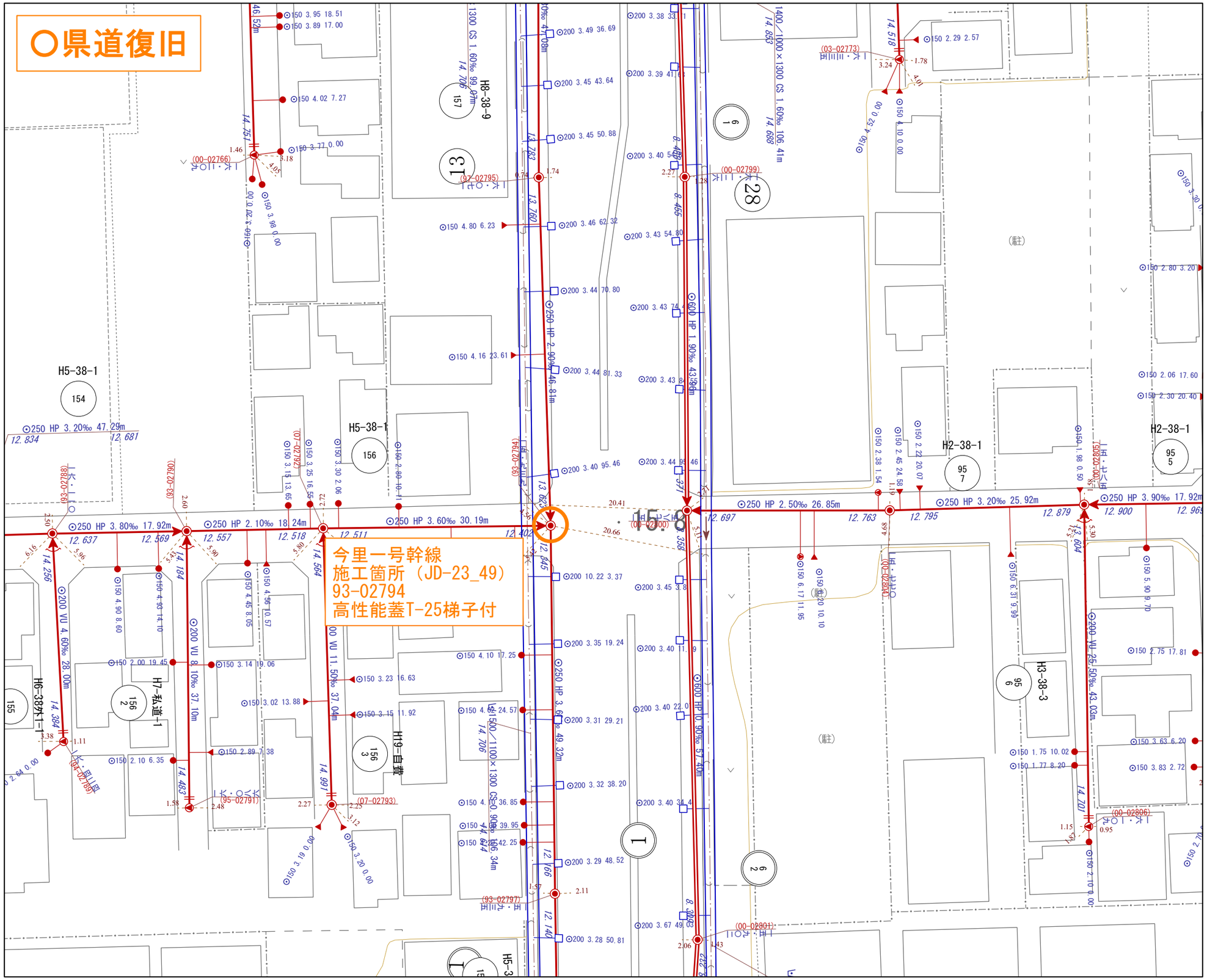
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日



凡　例	
線　種	種　別
	処理分区界
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

<人孔属性>

地盤高　三四・三六　施設名

<管渠属性>

管種　管径　勾配　区間延長
VU　Φ250　5.00‰　23.45m
12.345　上流側管底高
12.228　下流側管底高

<取付管属性>

管径　取付管延長
Φ150　3.50　12.34
上流側人孔からの距離

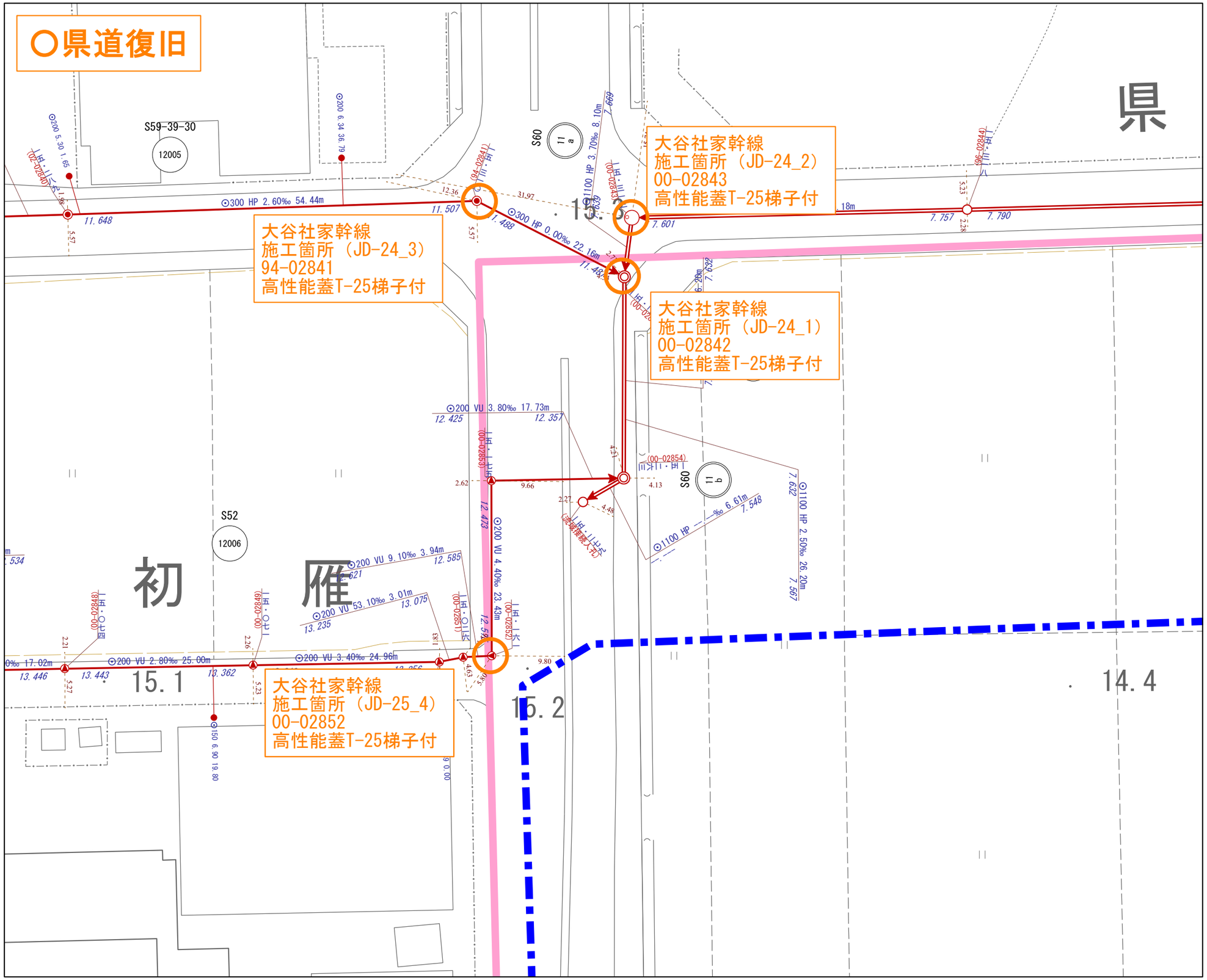
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

出力：令和7年5月26日

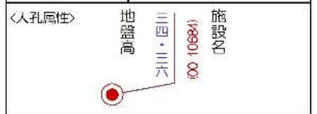


凡　例

線　種	種　別
	処理分区界

記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

〈人孔属性〉



〈管渠属性〉

〈取付管属性〉

海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

海老名市まちづくり部下水道課

海老名市公共下水道台帳図　（汚水）

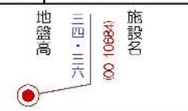
出力：令和7年5月26日

凡　例

線　種	種　別
	処理分区界

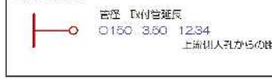
記　号	種　別
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管
	0号人孔
	1号人孔
	2号人孔
	3号人孔
	4号人孔
	6号人孔
	円形人孔
	塩ビ人孔
	楕円人孔
	特1号人孔
	特3号人孔
	特4号人孔
	特殊人孔
	伏せ越し人孔
	管止
	マンホールポンプ場
	その他
	不明
	副管取付
	起点記号
	汚水公共桝（汚水桝（A））
	汚水公共桝（汚水桝（B））
	汚水公共桝（汚水桝（C））
	汚水公共桝（汚水桝（D））
	汚水公共桝（塩ビ）

<人孔属性>



<管渠属性>

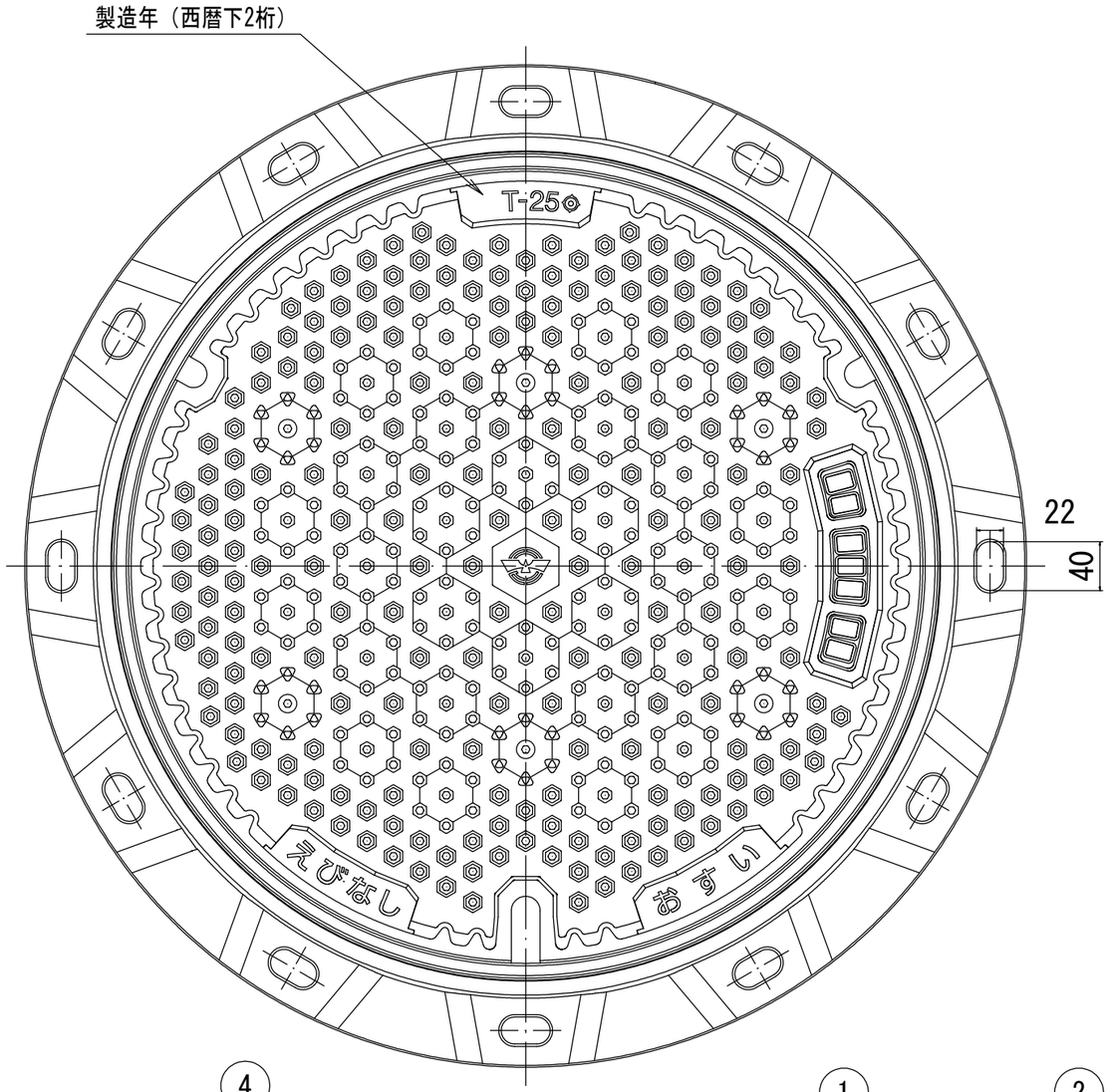
<取付管属性>



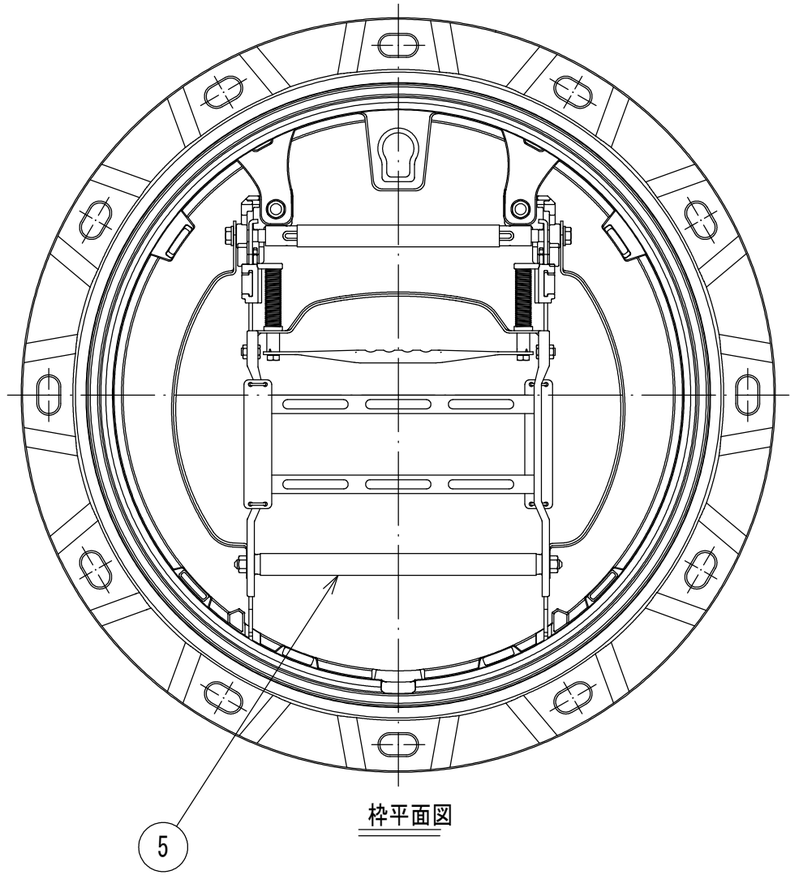
海老名市公共下水道台帳と相違ありません。
この図面は参考図であり、施設位置は現地と異なる場合があります。

1/500

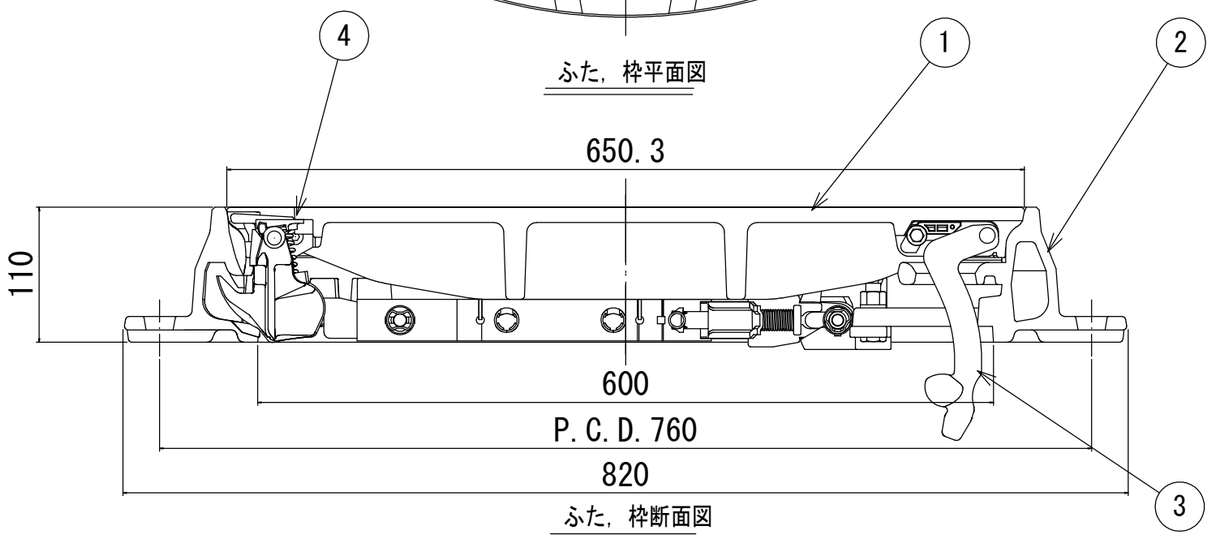
海老名市まちづくり部下水道課



ふた，枠平面図



枠平面図



ふた，枠断面図

品番	名称	材質	個数	備考
5	転落防止装置	SUS304他	1	
4	自動錠	FCD600他	1組	ボルト・ナット
3	蝶番	FCD600他	1	ボルト・ナット
2	枠	FCD600	1	
1	ふた	FCD700	1	荷重仕様:T-25

設計	図番	尺度	年月日

型式

品名 海老名市型高機能型鉄蓋　Ｔ－２５　汚水